

平成 26 年 11 月 25 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）  
〒 520-0867  
住所 滋賀県大津大平2-31番 13-405号  
事業者名 介護用品のうさぎ屋  
担当者所属 代表  
担当者名 橋本 由喜江  
電話番号 077-526-7922  
電子メールアドレス usagiya-kaigo@hotmail.com

### 専門職によるアドバイス支援事業 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う、介護ロボット等の「専門職によるアドバイス支援事業」について、下記の書類を提出して依頼します。

#### 記

1. アドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの福祉用具・介護ロボットの開発実績がわかる書類（任意様式）  
※実績がない場合は、提出不要

（書類の取り扱い等について）

- ご提出いただく「アドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングのために公開いたします。公開可能な範囲において、できる限り記載してください。
- 「アドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングに際して、インターネット等を通じて登録協力施設等へ情報提供します。
- 依頼する案件について、適切なアドバイスが行える介護施設又は団体等が現れない場合には、実施できない場合もあることを予めご承知置きください。

(別紙)

平成 26 年 11 月 25 日

## アドバイス支援事業 依頼概要書

### 1. 希望する事業の枠組み (いずれか希望する方に○印を付けるか、事務局までご相談ください。)

1. 介護職員等との意見交換	○
2. 専門職によるアドバイス支援	

### 2. 依頼者の概要

事業者名	介護用品のうさぎ屋		
担当者名	橋本 由喜江		
担当者連絡先	住所	〒520-0867 滋賀県大津市大平2-31番 13-405号	
	電話	077-526-7922	
	電子メールアドレス	usagiya-kaigo@hotmail.com	
主たる業務	介護用品の開発・製造・販売		
主要な製品	「快適・介護インナー 白寿」 「フルオープン介護インナー 百花」		
希望する施設等の種類・職種等	医療施設等		
アドバイス(意見交換)を希望する地域	滋賀県		
その他			

### 3. 機器開発コンセプトあるいは試作機の概要 (可能な範囲でご記入ください)

機器の名称(仮称)	快適・介護インナー 白寿		
試作機の有無及び	試作機の有無	1. 有り ・ 2. 無し	

<p>機器のコンセプト (試作機あれば写真を添付)</p>	<p>機器の目的及び特徴 おむつ外しや弄便等の不潔行為を、使用者の身体拘束や運動・行動を制限する事なく防止する介護に特化した機能性下着。形状はボディースーツ型の下着である為、シャツがめくり上がり、体幹部の肌が露出する事もない。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: right;">臀部の面ファスナー（マジック）で開閉する</p>
<p>想定する使用者及び使用方法、使用環境</p>	<p>使用者、使用方法、使用環境 認知症BPSDによる、おむつ外しや弄便の症状がある人。及び、おむつを着用する人。また、胃ろう造設術後（PEG）や、人口肛門造設術後（ストーマ）の介護にも適している。リハビリパンツ使用の上から着用も可能。</p>
<p>現在の開発状況と課題</p>	<p>男女別のデザイン、素材等のバリエーション等が課題。</p>
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	<p>現在は男女共用の下着であるが、女性用のデザインや、素材の工夫が必要と考えている。既に要望が届いているので、今回こういった点についても意見交換を希望している。</p>
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やして記入してください。

様式1（専門職によるアドバイス支援事業 依頼書）の

「2. 会社概要（任意様式）」

「3. これまでの福祉用具・介護ロボットの開発実績がわかる書類（任意様式）」

にあたる書類

“着る人にやさしく、介護にもやさしい”  
新しい介護用下着のご案内

介護用品のうさぎ屋

代表 橋本 由喜江

# 目次

事業の背景と目的	ページ
1：高齢化社会と認知症	－ 3
2：認知症介護に於ける問題	－ 3
3：問題解決と商品開発	－ 5
商品説明	
1：寝たきり認知症患者向けの介護用下着 商品名「白寿」（はくじゅ）	－ 6
2：介護労力の軽減を目的としたフルオープン型 介護用下着 商品名「百花」（ひゃっか）	－ 7
既存商品との比較	
1：市場にて競合する商品と「白寿」との比較	－ 8
現在までの取り組み	
1：保有している知的財産権	－ 9
2：試行テスト	－ 9
商品販売	－ 11
代表者プロフィール	－ 12

# 事業の背景と目的

## 1：高齢化社会と認知症

現在日本は 65 歳以上の人口が 24.1%<sup>1</sup>という高齢化社会を迎え、2025 年には 30.3%<sup>2</sup>と予測されています。超高齢化社会という、私達がかつて経験したことのない社会を迎えようとしています。

健康で長生きできるという事は大変素晴らしい事です。しかし、高齢者 65 歳以上の約 15%<sup>3</sup>に見られるという認知症患者の問題が、大きく行く手に立ちはだかっています。

今後、iPS 細胞などの研究開発や技術の発展により、新薬や治療法が開発されるかもしれませんが、しかし現時点では、この病気の原因や予防の研究は進み、進行を遅らせる薬は開発されていますが、完治する特効薬は有りません。

そういった中クローズアップされているのが、介護のあり方です。

認知症は進行性の病気であり、個人差はありますが、終末期までに 10 年～15 年と長期に及びます。初期には物忘れや家事が出来ない等の症状で受診し、診断を受ける事も多いです。そして、しだいに「あれが出来ない、こんなことが出来無くなった」と、少しずつ認知症は進行していきます。

中等度の時期になると、会話や歩行、食事、排泄、入浴等の自身の生活行為ができなくなります。そして、寝たきりとなり終末期を迎える事になります。

簡単に認知症を紹介しましたが、次に、本事業の背景となる介護保険の要介護状態 4～5 という認知症中等度～終末期に於ける問題について、触れたいと思います。

## 2：認知症介護に於ける問題

身体介護で、介護が困難とされているのが、BPSD と言われる精神行動障害を伴う認知症介護の問題です。最近ではその介護の状況が TV で紹介されたりしており、一般の人にも症状が知られる様になりました。

「大声を出す」「暴れる」「徘徊する」「おむつを外す」「便を触る」「介護拒否」「妄想」「暴力」等の症状で、「問題行動」と言われて来ました。

確かにこういった症状の介護は困難を伴います。介護の現場では、日々奮闘の状態が繰り返えされてきましたが、最近では「問題行動」と考えるのではなく、その人の行動の原因を考え探りながら、一人の人として向き合う介護を行おう、と言う取り組みも行われています。

しかし、介護する家族が、或いは施設の職員が、いつも患者のサインに気付き関わりを考え介護を行う事は実際には難しい事かも知れません。それは、時には効率的ではない。とか、介護者の心の余裕が無かった。時間の余裕や、場所の余裕、経済的な余裕が無い等の場合です。理想と現実の中で、懸命に介護に向き合っている人の苦労を思うばかりです。

---

1 総務省「統計からみた我が国の高齢者（65 歳以上）」（平成 24 年 9 月 16 日）より

2 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成 24 年 1 月推計）より

3 厚生労働科学研究費補助金（認知症対策総合研究事業）総合研究報告書「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」（平成 25 年 3 月）より

中でも患者が「おむつを外す」「便を触る」という問題は、介護者にとって大きく負担のかかる事です。

ほとんどの場合、患者は便を触っているという自覚がありません。手が触れたらついてきたといった状態です。その手であちこちを触るためベッドや衣類、寝具、身体が便で汚染されるという悲惨な状況になってしまいます。この事は、患者自身にとっても不衛生な状況に身を置くこととなり、介護の大きな問題でした。

こうした場合、やむを得ず医師の許可と家族の同意を得て介護衣（つなぎ服）を着せ、ミトン型の拘束手袋を付け、おむつに触れない状態にしていました。これらは身体拘束と呼ばれ、今も医療機関ではこの様な対応が行われています。

#### <身体拘束の定義>

- 1 徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。
- 2 転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。
- 3 自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。
- 4 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。
- 5 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。
- 6 車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったりにしないように、Y字型抑制帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける。
- 7 立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようないすを使用する。
- 8 脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。
- 9 他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。
- 10 行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。
- 11 自分の意思で開けることのできない居室等に隔離する。

（厚生労働省「身体拘束ゼロへの手引き」（平成13年3月）より）

老人福祉・老人保健施設では、つなぎ服やミトン型の手袋は原則禁止、使用出来ません。入居者と家族は老人ホームや施設から対応困難と言われ、医療機関（主に精神科病院）に紹介される事になります。全国の精神科病院（認知症患者を受け入れている病院）には、つなぎ服とミトン型の手袋を付けた認知症患者で溢れているのが現状です。

しかし、どこの病院も満杯の状態です。そもそも病院は急性期の病人を対象に治療を目的とする所です。精神科病院もそれにそって対応しているのですが、次の受け入れ先が見つからず、患者の長期入院の一因となっています。

運良く入院したその日に、「次の受け入れ先を探しておいて下さい。」等と言われ途方に暮れる家族も大勢です。

こうした介護状況はしだいに介護者の心身を疲弊させてしまいます。認知症患者を在宅で介護している家族にとっては深刻な問題です。

介護職の離職率の高さや、家族の介護疲れによる心中事件や、老人虐待などの問題は、こうした介護の状況が原因の一つでもあると考えます。

そこで、「何とか、おむつ外しの問題を解決する事はできないか」と考え、認知症患者を身体拘束することなく、おむつに触りにくくする工夫を考えました。

### 3：問題解決と商品開発

おむつを触るという問題に対して、前ページ〈身体拘束の定義〉の表 5 と 8 にあるミトン型手袋と介護衣（つなぎ服）があります。つなぎ服は特殊なホックや鍵付きファスナーを付け、衣服を脱げなくする事で問題の解決を図り、ミトン型手袋は手首に特殊なホックを付け、手袋を取れなくする事で手指の動きを制限し、問題を解決しています。

身体拘束とは患者の動きを制限すること、また、その人らしさを阻害するものであり、人権保護の観点から使用に制限が掛かっています。

衣服はその人らしさを表す根源的な個性の表出であり、似合う色や好みの色や柄、お気に入りや長年愛用しているとか、衣服と共にある思い出や、思いを込めてプレゼントする等、衣服は個人の尊厳を保つ大切な要素です。病気であっても、できるだけ着用者の人権に配慮された衣類が提供されるべき、と考えます。

この事を念頭に置き、私達が問題の解決に対して着目したのは「下着」でした。

おむつを触るという課題に対して、対象者が寝たきり認知症患者であり、その状態をあるがままに受け止め、逆に「寝たきりである」という特性を活かそうと、前向きな発想に切り替えてみました。すると全体のデザインは、シャツがめくれ上がらないボディースーツ型で、パンツ部分の開閉部の部材を面ファスナー（マジック）とし、臀部に持ってきた場合、「着用者の体重によりマジックが圧着される」という事に着目しました。

寝たきりの患者側からは開閉しにくく、患者の手からオムツを遠ざけられます。

こうした発想と工夫で、認知症患者がおむつに触るという課題を解決しました。一方、介護（おむつ交換）時にはマジックを剥ぎ取ると容易に開閉でき、介護（おむつ交換）もスムーズに行えます。

ボディースーツ型の下着は身体にフィットし、運動や行動を制限する事なく、シャツの上に好みのパジャマや病衣を着用する事ができます。

それが私共の開発した介護用下着「白寿」です。

この下着が困難な介護で苦しむ人々にとって、福音となります事を願ってやみません。

「介護を受ける人も、介護を行う人も、共に笑顔で生きる」社会造りを目指し介護用下着の販売と普及を通して、認知症介護のより良い発展に寄与する事を、事業の目的とします。

# 商品説明

## 1：寝たきり認知症患者向けの介護用下着

商品名【白寿】(はくじゅ) 特許第 4410288 号



(商品写真は全て、紙おむつ・尿とりパット 1 枚を付けて、商品を着用した状態)

### 特徴と機能

この商品は、寝たきり認知症患者がおむつ外しや便を触る等の課題の解決に向けて開発された介護用下着です。

臀部の面ファスナー（マジック）で開閉するボディスーツ型下着で、寝ている時、座っている時でも、着用者自身の体重により臀部のマジックが圧着され、係合が外れにくくなります。これにより、着用者がおむつを外す、便を触る等の行為を、着用者の運動や行動を制限する事なく防止できます。一方、おむつ交換時にはマジックを剥がすだけで容易に開閉が可能なので、介護をスムーズに行う事ができます。

ボディスーツ型の為、シャツがめくり上がり体幹部の肌が露出する事も防いでいます。

おむつ外しや便を触る等の行為を防止する事で、清潔で快適な介護環境の保持を可能にし、同時に介護者の介護労力の軽減を実現します。

### 他の適用症例

認知症患者で、胃ろう造設術後（PEG）や、人口肛門造設術後（ストーマ）の介護にも適しています。リハビリパンツ使用の上から着用も可能です。

### 商品仕様

本体：綿 65% ポリエステル 35%（吸汗速乾素材 東レ「エアレット®」使用）

面ファスナー部分：ポリエステル 100% （本体素材・綿 100%の商品も有り）

バリエーション：半袖、七分袖 （男女兼用）

サイズ：S、M、L、LL

現在の小売価格：半袖・¥3,990 七分袖・¥4,260（消費税込 サイズ、素材共通）

TAIS コード：01407 - 000001

日本製

## 2：介護労力の軽減を目的としたフルオープン型介護用下着

商品名【百花】（ひゃっか） 意匠登録第 1357752 号



（写真は「百花」七分袖サンプル）

### 特徴と機能

この商品は、介護者の介護労力の軽減を図る目的に開発された、フルオープン介護用下着です。

ボディスーツ型で前開きフルオープンのデザインにより、寝たきり高齢者や、四肢に拘縮<sup>1</sup>が有る人や麻痺のある人に対し、着替えやおむつ交換がスムーズに行え、介護の効率性を高める事ができます。

おむつ交換は腹部の面ファスナー（マジック）の開閉のみで行います。腹部や背中周りのしわやたるみが少なく、吸汗速乾素材の生地が身体を包み込むようにフィットし、快適な着心地を提供します。

シャツの開閉ホックは、洗濯に強く肌に優しいテープスナッパーを採用しました。

### 適用症例

おむつ着用者全般。おむつ着用者で、おむつ外しや便を触る等の症状のある場合は「白寿」を、そのような症状がない場合は「百花」を、という使い分けが可能です。

### 商品仕様

本体：綿 65% ポリエステル 35%（吸汗速乾素材 東レ「エアレット®」使用）

面ファスナー部分：ポリエステル 100%

バリエーション：半袖（男女兼用）

サイズ：M、L、LL

販売価格：半袖・¥3,990（消費税込 サイズ共通） 日本製

TAIS コード：01407 - 000002

2014年3月発売

<sup>1</sup> 筋性拘縮・高齢者が長期間寝たきりだった事に起因する、廃用性の萎縮を指す

# 既存商品との比較

## 1：市場にて競合する商品と「白寿」との比較

	 <p>つなぎ服・ミトン型拘束手袋</p> <p>画像引用元：<a href="https://amazon.co.jp">amazon.co.jp</a></p>	 <p>「白寿」</p>
機能	特殊ホックや鍵付きファスナー等で着用者が脱衣できなくする事で、便に触る等の行為を防止している。	着用者の体重により、臀部の面ファスナーが圧着され、おむつ外しや便に触る等の行為を防止している。
身体拘束	「身体拘束の定義」にて介護衣（つなぎ服）とされており、使用には家族の同意と医師の許可が必要。	着用者の運動・行動を制限する事がなく、人権に対して許容される程度の防止策と考える。
介護者の負担	特殊ホックや鍵付きファスナー等でおむつ交換や更衣に手間がかかる。	面ファスナー（マジック）を開閉するだけで、おむつ交換が可能。
衣服の自由度	単体で上衣であり、全身を覆う為それ以外の衣服の選択はできない。	下着であり、上に好みのパジャマや病衣を着る事ができる。
価格	つなぎ服：5,000～10,000 円程度 ミトン型手袋：約 4,000～10,000 円	半袖：3,990 円 七分袖：4,260 円（税込）

# 現在までの取り組み

## 1：保有している知的財産権

2008年、「白寿」特許出願。「百花」意匠出願。

2009年3月「百花」意匠権登録（日本国意匠登録第1357752号）。

同年11月「白寿」特許権登録（日本国特許第4410288号）。

2010年、「開放特許データベース」への「白寿」登録。

2013年6月、公益社団法人テクノエイド協会の福祉用具情報システム(TAIS)に「白寿」を登録。(TAISコード：01407-000001)

2014年4月、「百花」登録。(TAISコード：01407-000002)

## 2：試行テスト

2008年より試作品を作製、商品の改良を進めました。

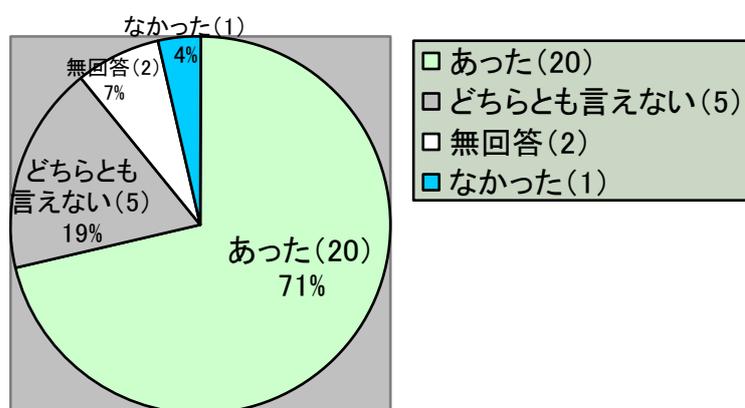
「白寿」商品見本・試供品提供先（2008年～2014年7月）

	件数	枚数	アンケート回答数
病院	11	121	17
特別養護老人ホーム	5	7	3
有料老人ホーム	1	5	4
訪問介護センター	1	3	1
個人（在宅介護）	7	14	3
その他（商品見本）	10	22	0
合計	35	170	28

同時に、精神科病院、医療療養病棟、特別養護老人ホーム、在宅介護中の個人の協力を得て、おむつ外しやおむつ弄りに対する使用効果についてのアンケートを実施。

【効果があった】【効果がなかった】【どちらとも言えない】の選択肢を設けました。

「白寿」施行後アンケート：製品の使用効果について(回答者数 28名)



製品の使用効果があったという回答が71%有り、試行後も継続使用されている点から、製品の機能性については一定の評価を得たと考えています。

但し、小規模な調査であり、今後更に期間や対象者数を広げた検討が課題です。

同アンケートに自由記入欄を設定し意見・感想を募った所、様々な意見が寄せられました。以下はその一部です。

『毎日介護に悪戦苦闘し、互いに心で泣いている毎日のことを思うとありがたい品を発案いただき、介護者も介護される者も、にこにこ笑う生活ができるようになりました。』(施設職員)

『おむつを取ってしまっていて困っていたところ、ケアマネージャーさんから紹介して頂いて、使ってみましたところ、マジックがお尻の所にあり本人の手が届かなくて、おむつを取ることもなく、寝具を汚すこともなく大変ありがたかったです。』(在宅介護中の家族)

『お値段は少々高めかと思いますが、毎日大変だった事を思うとその位は、と思っています。  
以前より楽になりましたが、病院への入院ではかぶりの下着は着せられないので、困っています。つなぎ服を6着も買っても、毎日洗濯物の山です。』(在宅介護中の家族)

上記のような感想が寄せられ、この商品の必要性和介護者のニーズに答えることが重要な事に改めて気付かされました。



# 商品販売

試行後も継続して使用したいという要望が有り、2012 年より自社ウェブサイトを作成、FAX・インターネットを通じて個人向け通信販売を開始しました。

口コミ等で広がり、現在、有料老人ホームや特別養護老人ホーム、医療療養病棟、老人保健施設、在宅介護等に顧客があります。

	
<p align="center"><b>うさぎ屋自社ショップ</b>  <a href="http://usagiya99.cart.fc2.com/">http://usagiya99.cart.fc2.com/</a></p>	<p align="center"><b>amazon</b></p>
	
<p align="center"><b>yahoo ショッピング</b>  <a href="http://store.shopping.yahoo.co.jp/usagiya-kaigo/">http://store.shopping.yahoo.co.jp/usagiya-kaigo/</a></p>	<p align="center"><b>介護用品のうさぎ屋 ウェブサイト</b>  <a href="http://usagiya99.web.fc2.com/">http://usagiya99.web.fc2.com/</a></p>

google や yahoo 等の検索エンジンで「介護用品のうさぎ屋」と検索して頂ければ「介護用品のうさぎ屋 ウェブサイト」が表示されます。

ご注文は上記の各ショップ、または FAX で受け付けています。  
 うさぎ屋ウェブサイトから FAX 注文書がダウンロードできます。

是非一度、ご検討頂けますと幸いです。  
 試供品で一度試してみたい、という方もご相談下さい。

# 介護用品のうさぎ屋

## 代表者プロフィール

1978年、聖霊病院付属看護専門学校卒業（名古屋市）同年看護師免許取得。

一般病院、長期療養型病院（病棟師長）、精神科病院（病棟主任）等の病院勤務を経て、2008年、長年の高齢者看護・介護の経験を活かし、「着る人にやさしく、介護にもやさしい」介護用下着「白寿」「百花」を考案。2009年にそれぞれ特許権・意匠権を取得した。

2011年精神科病院を定年退職し、現在、個人事業「介護用品のうさぎ屋」の活動を行う。

介護用品のうさぎ屋

代表 橋本 由喜江

〒520-0867

滋賀県大津市大平 2-3-1 13-405

TEL&FAX : 077-526-7922

E-mail : usagiya-kaigo@hotmail.com

web : <http://usagiya99.web.fc2.com/>